

かみさか たつあき

神 坂 達 成



発行者:公明党さいたま市議会議員 (保健福祉委員会、市庁舎等整備検討特別委員会、さいたま市監査委員)
連絡先:090-3240-8830 ご意見・ご要望・暮らしの相談など、お気軽にどうぞ

新都心東口へ 令和13年度を目途に

市役所移転決まる!



(2031年度を目途に、新庁舎完成を目指す建設予定地)

4月28日、さいたま市議会は、臨時議会を開催しました。

市長から議会に対して、市役所本庁舎移転に関する条例改正案が提出されたことによるものです。

なお、市庁舎の位置を定める条例改正には、市議会の※特別多数議決(3分の2以上)が必要です。投票結果は以下の通りです。

(議員定数 60人)

賛成	48票
反対	9票
退席	3票



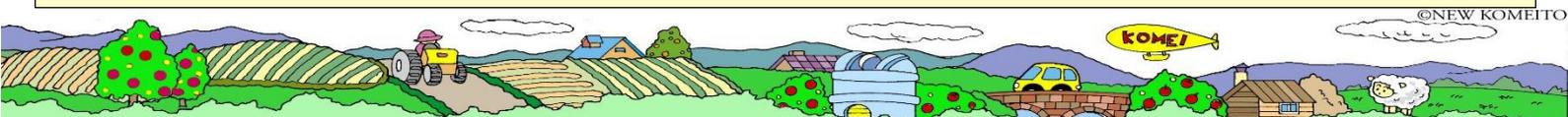
※特別多数議決とは

議会の意思決定は通常、過半数の議決によりなされますが、住民の利害に大きく影響を及ぼす案件については、より厳しい議決の条件が課せられることを言います。

私は、これまで庁舎検討特別委員会の委員として、第一回目から議論に参加してきました。議論の中では、庁舎移転に関するメリット、デメリット、事業コスト、現地建て替えをした場合のシミュレーション、大規模災害時の防災力等、多角的な視点から検討する中で、総合的に判断し賛成の一票を投じました。

さいたま市の総人口は、既に133万人を突破し、日本有数の大都市としてこれまで着実な発展を遂げてきました。しかし、近年、我が国においては、人口減少社会という局面に突入し、かつては想像もできなかった「消滅都市」が多くの自治体で現実味を帯びてきました。そのなかにおいても、さいたま市は東日本の中枢都市として、その使命と責任を果たすべく、さらなる発展の礎を築いていかなければなりません。その意味からも、庁舎移転を契機とした新たなまちづくりは必要であると考えたからです。

まちづくりは一朝一夕にできるものではありませんが、必ずやこの判断は間違っていないと、市民の皆様を感じていただける日が来ると神坂達成は信じています。



政策提案が実現しました！



全ての災害情報をスマホで入手

4 4 1

風水害モード 雨雲の様子を確認



通常モード



地震モード 市内の震度を確認



台風発生

地震発生

30

2019 9



iOS版 (App Store)



Android版 (Google Play)

80

緑区は 11 公園へ拡大！

80 4 2

